

【コピー、転送、回覧など多くの人にお渡しください。各団体各地の活動をお知らせ下さい】

メールニュース

No.22-28
2022年 6月6日

安保破棄中央実行委員会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

沖縄・高江座り込み15年集会 軍事基地のない「やんばる」を 住民はあきらめず、たたかい継続を決意

東村の農民研修施設 5日



「高江座り込み15周年報告集会」(主催・「ヘリパッドいらない」住民の会)が6月5日、沖縄県東村農民研修施設で170人が参加し、3年ぶりに開催されました。

集会では、2016年7月に同村高江へ機動隊を派遣した6都府県と沖縄での住民監査請求と、派遣の違法を問う訴訟報告が東京、愛知、沖縄の原告代表からありました。愛知の報告で、名古屋高裁が機動隊派遣を違法とする判決が出されたこ

とが紹介されると、会場から拍手がわき起りました。沖縄の代表は、名古屋高裁が「沖縄県警の県外機動隊派遣の援助要求に重大な瑕疵がある」としたことは画期的であると評価しました。

ジュゴン保護キャンペーンセンターの吉川秀樹さんは、北部訓練場の一部返還地域を含む沖縄県北部の世界自然遺産登録の経過の中で、ヘリパッド建設を伴う北部訓練場のことをほとんど書かなかった環境省の杜撰な登録推薦状の状況を報告。今後とも世界遺産での米軍オスプレイなどの軍事訓練を住民の会などと監視することを呼びかけ、あきらめずたたかいを継続すると語りました。

7月の参院選で再選をめざす「オール沖縄」の伊ハ洋一参議院議員と、日本共産党の赤嶺政賢議員から連帯メッセージが寄せられました。安保破棄中央実行委員会からも集会に参加しました。

お知らせ

・安保破棄中央実行委員会の6月度常任幹事会

6月8日(水)午後3時から 平和と労働センター(全労連)8F 民医連会議室

- ・5月26日の「復帰」50年 辺野古新基地建設を許さず 憲法が生きる沖縄と日本を！ in 東京(#0526 野音集会)を下記のURLから視聴できます。
<https://youtu.be/qcm-3w38d4M>



JR草津駅前の宣伝行動

安保破棄滋賀県実行委員会は、5月15日、沖縄が日本に復帰して50年の今年、米軍基地の7割が集中し、さまざまな被害と新たな辺野古新基地建設を押し付けられていく現状を知り、基地のない平和な島をめぐす沖縄と連帯しようと、JR草津駅前で沖縄連帯のつどい主催・安保破棄滋賀県実行委員会・革新の会しが、共催・平和委員会)を宣伝行動で実施しました。

竹腰宏見代表委員は挨拶で自公政権による大軍拡・改憲策動を批判、今後の日米地位協定のたたかいの重要性を訴えました。平和委員会、自治労連、新婦人、自由法曹団、全滋賀教組、共産党の各参加団体が、基地のない平和な沖縄を「力対力ではなく国連憲章守れの声を世界中に」などと訴えました。

安保滋賀、岡本一郎)

安保滋賀

沖縄連帯の宣伝行動
基地のない平和な島を

住民の血中濃度の測定「何ができるか検討したい」と首相 基地周辺の川から有機フッ素化合物を検出 (5/31 付沖縄タイムス)

岸田文雄首相は5月30日の参院予算委員会で、米軍基地周辺の河川などから有機フッ素化合物PFAS(ピーファス)が検出されている問題を巡り、血中濃度を測る検査について「政府として何ができるかを検討したい」との考えを示した。

血液検査に関しては、市民団体と大学が協力し、県内で大規模な調査実施を試みる動きもある。首相は「県民の不安解消に向けて努力しなければならない」と述べた。有田芳生氏(立憲民主県連代表代行)への答弁。